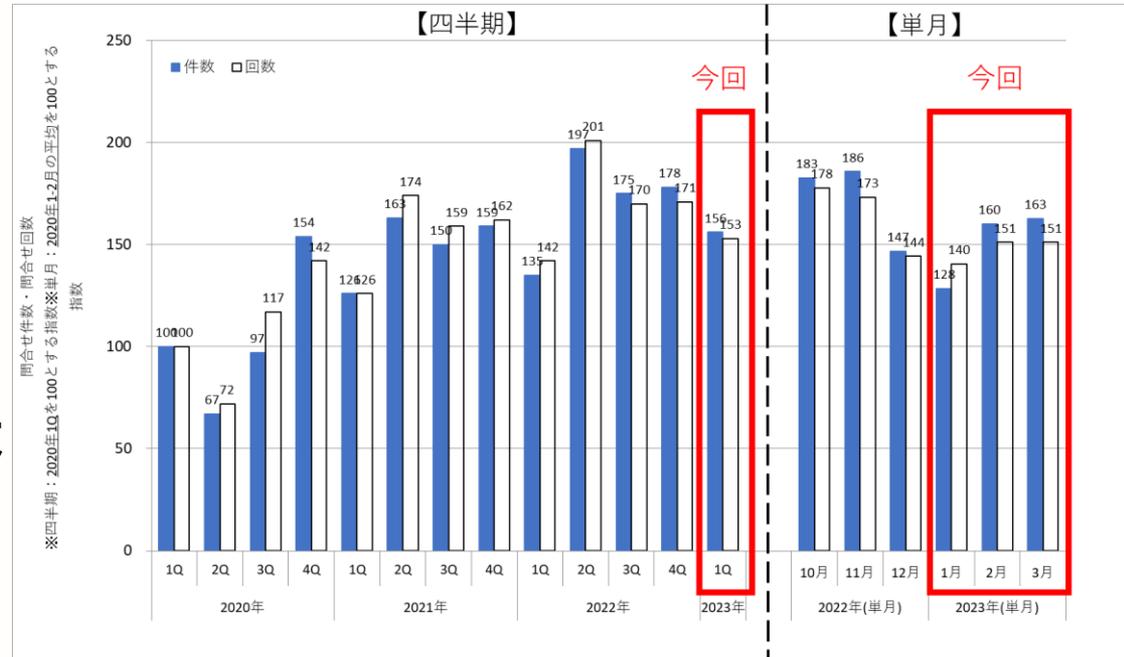


鑑定問合せ件数の推移 (2023年第1四半期までの件数を集計)

大和不動産鑑定株式会社 リサーチ&マーケティング部
2023年4月6日

不動産取引市場の先行指標(鑑定問合せ件数・回数(※)の推移)

- 右図は、お客様からの月別鑑定問合せ件数・回数(※)を比較したものである
- コロナ前の2020年1Qを100とすると、1度目の緊急事態宣言の2020年2Qは約7割だが、3Qに回復し、4Q以降は現在までコロナ前を上回る
- 2021年は2Q以降、件数・回数がコロナ前の概ね1.5～1.6倍で安定
- 2023年1Qの件数・回数は、季節的な要因もあり2022年4Qよりも減少したが、コロナ前のほぼ1.5倍



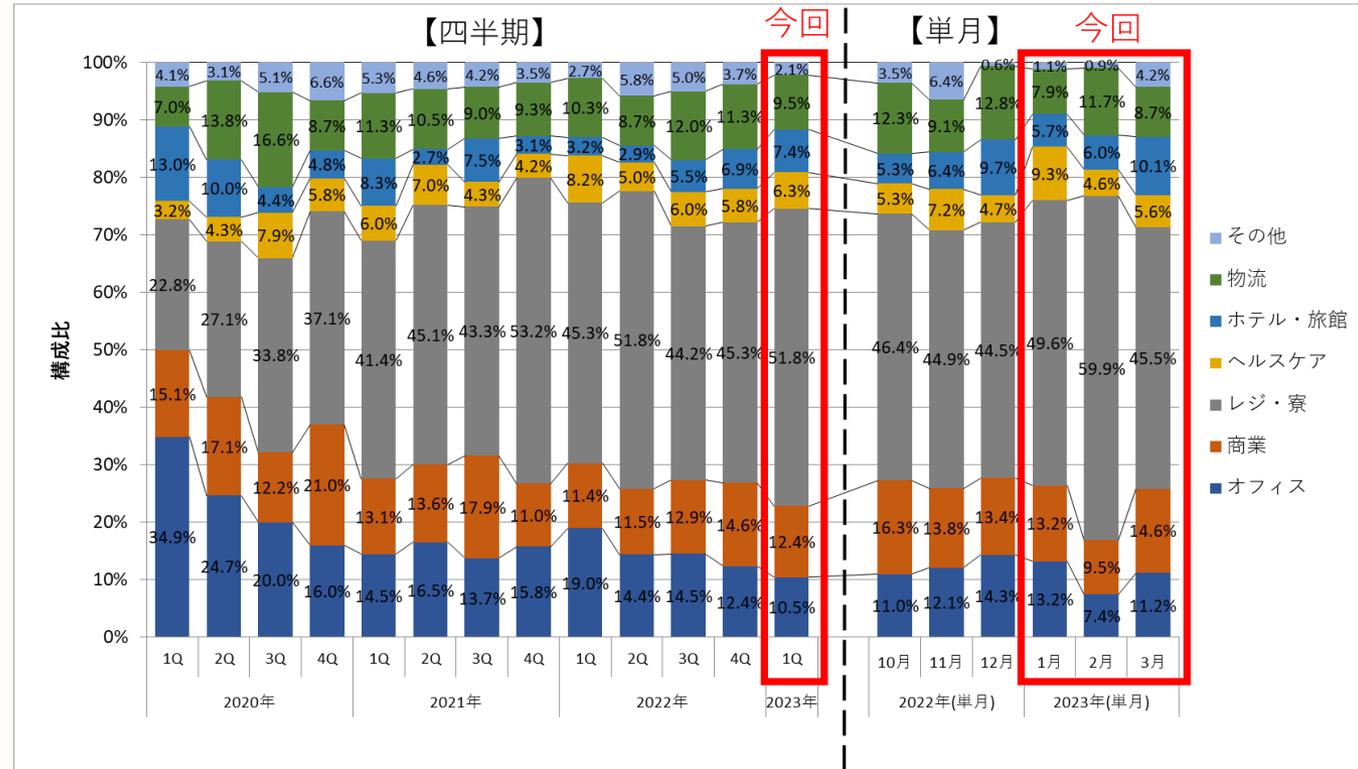
※例えば、1回に3物件の問合せを頂いた場合、件数は3件、回数は1回と計上。
※今回より件数は、同一と考えられる物件の重複を除き集計(過去分も同様)。

(出所)大和不動産鑑定株式会社作成

アセットタイプ別比率の推移

2022年4Qとの
比較では

- オフィスはやや減少
- 商業はやや減少
- レジは増加
- ヘルスケアやや増加
- ホテルはやや増加
- 物流はやや減少



(出所)大和不動産鑑定株式会社作成